

コミュニケーション支援ボード 使い方ガイド



避難所などで障害者、外国人、高齢者など配慮の必要な方々をサポートするポイントやコミュニケーション支援ボードの使い方をまとめたものです。このガイドを参考に、各避難所に用意している「コミュニケーション支援ボード」などを活用して、避難所などでサポートしていただく際にお役立てください。

コミュニケーション支援ボードの使い方

コミュニケーション支援ボードとは

障害者、外国人、高齢者などが避難所で過ごすときに、コミュニケーション支援ボードの文字や絵を指さすことで、情報を伝えやすくするためのものです。

1 何か困っていること、何か伝えたいことがあるときには、正面にまわって注意を引いてから、ゆっくり、やさしく声をかけてみてください。

2 言葉が通じていないときや、相手が何を言っているかわからないときに、「どうしましたか？」とコミュニケーションボードを見せながら聞いてみてください。

3 相手にコミュニケーション支援ボードを指さしてもらうことで、意思を確認してください。

4 指さしが困難な方には、支援者の方（サポートする方）から、指さしをして、その反応を表情や動作によって確認してください。

5 言葉が話せなくても、文字が書ける方もいます。コミュニケーション支援ボードは、水性ペンで書いたり消したりできますので、ホワイトボードのように使ってください。



コミュニケーション支援ボード

ボードの説明(日本語・英語・中国語・ベトナム語に対応しています)

「避難所でのお知らせ絵ボード」(A3 横)

避難所で多く取り上げられる事柄(場面)について、あらかじめ文字と絵で表現したボードです。音声による情報伝達の場合(特に施設内でアナウンスされた場合)は、その情報はすぐに消えてしまいます。「避難所でのお知らせ絵ボード」は、文字と絵によって「現在起きている事柄(場面)」について、状況を伝えることができます。



「避難者受付ボード」(A3 横)

「避難者受付ボード」は、避難者の受付をするときに「情報交換が必要とされる事柄」について取りまとめたボードです。

避難者の受付

●避難者の受付をします

●自宅の被害状況はどうですか?

●家族に特別な配慮が必要な人がいますか?

父 母
夫 妻
娘 息子
おじいさん
おばあさん
兄弟/姉妹
雇用主
(日本のお父さん・お母さん)

避難状況の質問

●避難状況について教えてください

1. 緊急連絡先などをメモしたカードは? **ある・ない**

2. けがや病気をしていますか? **はい・いいえ**

3. ここには家族と来ましたか? **はい【人】・いいえ**

4. 家族は無事でしたか? **はい・いいえ**

5. 最後に食事をしたのはいつですか? **【今日 時ごろ・昨日・日前】**

6. アレルギーはありますか? **ある⇒どれ?・ない**

7. いつも飲んでいる薬はありますか? **ある⇒【 】・ない**

「フェイススケールボード」(A3 たて)

どうしたのか、それは体のどこの部分で、いつからなのか、顔の表情や症状を表した絵を使って自分の体の調子を伝えるためのボードです。音声によるコミュニケーションが困難な方に対して、自分の気持ちを伝えることができます。



「メッセージボード『わたしの伝えたいこと』」(A4 たて)

「指文字ボード」は、指文字やひらがなにより、他のボードで表現しきれない情報を表現できるようにするためのボードです。

「わたしの伝えたいこと」は、避難生活などにおいて、自分の気持ちを伝えるためのボードです。



コミュニケーション支援ボードは、田原市内にあるすべての避難所(風水害・地震)に配備しています。

田原市ホームページからダウンロードもできます。

田原市 コミュニケーション支援ボード

- 絵を見せるときは、ライトを光らせて注目を集めるなどして知らせましょう。
- 「コミュニケーション支援ボードがあること」を掲示などで知らせましょう。

災害時における障害者、外国人、高齢者を サポートするポイント

次に示したポイント(例)を参考に相手に合わせたサポートをしましょう

障害のある方(全般)

■情報提供の手法を工夫する

館内放送などの緊急情報を理解することが難しい方へは、文字や絵などを使って分かりやすく案内する など

■コミュニケーションの取り方を工夫する

難しい単語や早い話が理解しづらい方へは、分かりやすいことばで、「ゆっくり」「ていねいに」「くり返し」説明する、筆談をする際には、簡単な言葉を使う など

■外見からは分かりにくい障害のある方もいることを理解する

トイレの問題、疲れやすいことなど、できるだけ負担をかけない対応を心がける

■車いすが通ることのできるスペースを設ける

■車いす、歩行器、杖(白杖)、段差の解消、洋式トイレの確保などに配慮する

目的の場所まで案内するときには、相手の歩行速度に合わせた速度で歩く など

外国人の方

■生活習慣や食事、宗教などを理解する

■日本語にルビをつける

■やさしい日本語(短い文章や簡単なことば)で話す

■あいまいな表現をしない

例:「遠慮してください」 など

■質問をするときは、「はい」か「いいえ」で答えられるようにする

■多言語による情報提供をする

■外国語を話すことができる支援者を探す

■ピクトグラム(絵文字・絵単語)などで表示する



土足厳禁

くつ
靴を
ぬいでください
take off your shoes

高齢者、介護や看病を必要とする方

■洋式トイレ、ベッドやいす、手すり、杖などを用意する

■おむつ、衛生用品、スプーンなどの介助補助具を用意する

■医療支援を行う

■家族への声掛けをする

■介助や付き添いをつける

■話し相手になる

■食事、排せつ、着替えなどの介助をする



田原市防災局防災対策課

愛知県田原市田原町南番場30番地1

TEL:0531-23-3548 FAX:0531-23-0180 Email:saigai@city.tahara.aichi.jp